



原田 芳男 議員 … 5 件の一般質問

暮らし福祉を守る町の政治を

町長：4年間の中でしっかり進めていく

原田 核のゴミについての秘密説明会が資源エネルギー庁主催で行われた。原子力発電所は一旦事故が起きると壊滅的被害が広範囲で長期間続く。また、核のゴミの処理が未だに決まっていない。

再稼働せず直ちに廃炉を求めるときではないか町長の見解を問う。

町長 原発に対する基本的考えは廃炉で、可能なかぎり早期に廃炉にすべきと考える。再稼働については火力発電所の老朽化、経済等を考慮すると代替エネルギーが確立するまでのあいだ国の明確な責任において安全第一で進められるべきと考えている。

経産省主催の高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する説明会には、担当職員が情報収集のために出席したが説明によると、自治体の応募は今までどおり行つたうえで候補地は国から申し入れすると説明があり、その動向に注意していく。

子ども・子育て支援

原田 ①保育料の設定に
関し「子供手当創設」に伴って年少と特定の扶養控除が廃止されたがそれらの控除があるものと仮定して再計算されていた。27年度から再計算しなくてもよいとされ値上げが心配されていたが国会での論議を受け、再計算を妨げないと通達が出た。本町ではどうしているのか。

②公園、遊園地の改善を
求める声が多く寄せられている。

一、危険個所が放置されている。

二、遊具の撤去後そのまま。

三、公園の有効利用の方策。子育てを支援する立場で取り組むべきでは。

町長 ①保育料は、新制度移行前とほぼ同じとしている。年少扶養控除、特定扶養控除の廃止に伴う経過措置は設けていないが、今後その影響が大きいと判断したときには経過措置（再計

算）を検討したい。



放置状態の遊具（八幡農村広場）

町長 介護保険料は、1200円の引き上げである。給付費の総額で保険料が決まるのでやむを得ないと考えている。国民健康保険は、本町の保険料は管内でも低水準であり、保険税の引き下げは難しいと考えている。交付金の関係は、調査したうえで報告する。

公衆浴場の改善を

原田 昨年の公衆浴場の
廃業に伴い現在、
文化福祉センター内の
デイスター入浴施設を
公衆浴場として
いるが、浴槽、洗い場が狭
いと指摘されているが改
善すべきではないか。

町長 当初からデイスター
ビスセンターの入
浴施設の利用ですべての
人が満足できるものとは
考えていないが、恒久的
なものではないことから
引き続き検討したいと思
う。

国保税等の減免を

原田 国保税や介護保
険料の負担は限界
であり引き下げをすべき
ではないか。国も保険料
の軽減に対する交付金を
1700億円増額したが、
本町の取り扱いはどう
なっているのか。

学校教育における保
護者負担の軽減を

原田 現在、非正規や失
業などで収入が不安
定になり要保護、準要
保護を受けている小学
生が20%に及んでいる。
保護者負担の軽減の観
点から特に、統合中学校
における上靴などの指定
による負担も大きいので
はと思うし、メーカー指
定は行き過ぎではないか
と思うがいかがか。

町長 現在、要保護、準
要保護ではそれぞれ
れ実費に見合う形で支給
している。
指定にあたっては、
メーカーの指定が優先さ
れたわけではなく教育的
効果と機能性、耐久性を
考慮して選考した結果、
現在のジャージ等になっ
た。